

## 令和2年度事業計画書

特定非営利活動法人 ハニー・ビー

## I 事業の実施計画方針

令和2年1月以降の新型コロナウイルスによる感染拡大は、今年度当初からハニー・ビーの運営と事業活動に大きな影響が生じており、会員をはじめ利用者等関係各所の皆さんにも、多大なご迷惑をおかけする事態となりました。

さて、令和2年4月7日、政府より新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言が発出されたことに伴い、国民の生命を守るために、感染者数を抑えること及び医療提供体制や社会機能を維持することが重要であるとの認識から、社会経済活動の大部分が自粛されることとなりました。

私どもハニー・ビーにおきましても、収束に向けて国民の一員として行動するとともに、役職員一丸となって創意と工夫とともに、国の緊急融資、雇用調整助成金などの活用により、ハニー・ビーの運営と事業の安定的な継続の確保と所期の目標の達成に努めてまいります。また、現在の事態が収束した後には、早急に通常の事業が遂行できるよう取り組んでまいりますので、今後ともご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

今年度の事業計画につきましては、今後の事態の推移によりましては、大幅な変更を余儀なくされることをお含みおきください。

ハニー・ビーは、10年前の平成22年5月1日に豊中市民間初の放課後等デイサービス事業所としてマイ児童デイサービスを開設し、今年5月に10周年を迎えました。設立時よりわたしたちの事業活動の拠点であります豊中市におきましても、5月末には「緊急事態宣言」が解除され、「学校も再開」となり、少しずつ様子も変わりつつあるところですが、まだまだ出口も見えない状況の中、選んでいただける喜びをもって、今年度も障害福祉サービス事業を中心にこの10年の実績と経験を力に、またNPO法人としての使命を感じての社会変革の活動にも力を注いでまいります。

ハニー・ビーらしい活動を発展させながら支援いただいている皆さんの期待に応えていく所存です。

今年度も、設立当初からのミッションである『障がいがあっても社会参加は当たり前』の大きな目標を掲げ、『地域に根ざした活動の中で、障がいのあるなしに関係なく、みんなにやさしい共生社会の実現』をめざしていきます。『障がいのある親子に寄り添う支援』はもとより、なかなか考えにくいのですが親亡き後も地域で生きていくことを踏まえ、スタッフそれぞれが、『サービスさせていただく、また選んでいただけることに喜びをもってサービスにあたること。』を心がけていきたいと思います。

知的・発達障がい児・障がい者に特化した既存サービスである居宅介護、移動支援を、個別の支援と位置づけし、身体生活介護や通院時の付き添い、家事援助などの支援を行ないます。また、利用者の力を引き出せるように、個別支援計画に基づき様々な場面での自立に向けての支援をします。寄り添うことを心がけ、保護者、利用者のニーズに合わせてのサービス、将来を見据えてのサービス、また保護者のレスパイト的役割も担ったサービスを行ないます。

そしてちょうど10年前に北摂地区で民間初の放課後等デイサービス（当時の児童デイサービスⅡ型）を一番に開所した責務を感じ、自他共に北摂地区一番の放課後等デイサービスとして認められるよう、知的障がい、発達障がいのある子どもたちの将来の社会参加をめざした『療育支援』を、障がいのある彼らのために「どうしたら出来るか」を、すべての職員が一生懸命考え、そね、はっとりそれぞれの役割を大切にしながら、両事業所の長所を生かしつつ、一貫した支援体制を整備し、就学時のみの支援に留まることなく、体験値を積み重ねて、就学後の「はたらく」を達成できるよう、希望する利用者を、就労継続支援事業B型のハニー・ビー ジョブに繋げていきます。

マイ児童デイサービス（そね）では、主に小学生の利用者に対して、人との関わりが楽しいと思えることや、色々なものの中から自分の興味を広げていくこと、また巧緻性や身体（特に体幹）を整えることなどバランスの取れた療育に心掛け、子ども達が大きくなつても、自分らしく生き生き暮らせるよう、保護者の思いにも寄り添う支援に力を入れています。学齢期の今は保護者と離れて暮らすというイメージが持てなくとも、自立（または自律）すること、自分の役割を持つことで、人のために出来ることが喜びと感じ、やがてその人なりの仕事（働くこと）に結びつくものと思います。会社にお勤めして働くことを目標とするだけでなく、生きていく上での自立（または自律）に繋げられるよう、そねからはっとりへとバトンを繋いでいきます。

マイ児童デイサービスはっとりでは、主に中高生の利用者に対して、学校ではなかなか体験の機会が少ないことを中心に、一人ひとりの個別支援計画に基づき、就学期間中に何度も繰り返し体験を積み重ねることで、社会生活を送るために必要な力を身に付け、将来の夢などに少しでも近づけるよう支援していきます。障がいのあるなしに関係なく、すべての人が自分らしくありのまま地域で生活できることが、『当たり前の社会参加』であるとの考えが広がるように、利用者と保護者の支援を進めていきます。

その中で、就労継続支援 B型事業所 ハニー・ビー ジョブの機能強化を図り、『生活の主軸になる活動』として、利用者が毎日通所できる体制を整え、『障がいがあってもはたらく＝傍の人を楽にすることを意識して働く』だけでなく、もう一步踏み込んで『生きていくためのスキル（術）を身につける』ことに取り組んでいきたいと思います。

個々の利用者が、安心して通える環境の整備をすることで『障がいがあっても支援があれば働く』ことを実感してもらい、諦めないで就労をめざしていける体制が整えられるように、地域での行事にも参加をし『顔の見える関係性作り』を通じ、地域住民と障がい者がお互いに信頼関係を築けるように活動していきます。そして、チャンスがあれば昨年度実現した特例子会社への就労を視野に入れ、就労継続支援 B型からの安定した障害者就労支援、就業をめざしていきます。

豊中本町地域の皆さんにも、ハニー・ビーそして、ハニー・ビー ジョブに関心を持つてもらえるように、今年度も「より地域の方に開かれた、親しみを感じてもらえる」、誰もが一度は訪れてみたくなる事業所として、販売収益事業「ハ木屋」を通じ豊中本町地区でより一層近い存在なれるような事業展開を考えて活動します。

平成30年度障害者総合支援法改正により、障がいのある人が自らの望む地域生活を営むことができるよう、「就労」や「自立生活」へ支援の軸足が移されました。きっと障がいのある人たちの暮らしも変わってくるものと信じています。しかしながら『当たり前の社会参加』の実現には、「偏見という高い壁」が立ちはだかり、心配が先に立つ障がいのある人たちに心配を緩和できるように寄り添い、時には厳しい助言もし、共に考え方行動す

ることで『親亡き後も社会で生きる－社会参加－』へと、一緒に壁を乗り越えていく体制を取れるような相談支援事業にも力を注いでいきます。

また、今年度も10月に開催が予定されている「第39回スポーツフェスタ2020大阪」について、障がい者スポーツの主旨に賛同し、PR活動や当日の販売活動・諸団体との連携などを通じ積極的に参加していきます。

NPO 法人事業としては、今年度も7月に（今年は第11回。7月25日、26日に開催）『サポートが必要な子どもたちとの宿泊体験 IN 淡路島2020』を開催し、障がいのある子どもたちが、日常では興味があってもなかなか体験することの出来ない体験を、宿泊体験を通じて積み重ねていくと同時に、サポートーとして参加いただく皆さんには、障がいのある人たちと関わることによって障がいに対する概念が変わるようにと願っています。

11月には（今年は第9回。11月8日に開催）『みんなでワイワイさんあいイベント』を『障がいのあるなしに関わらず、「あい・しりあい・わかりあい」の3つのあいで、顔の見える関係性作り』の大切さを感じ取ってもらえる地域連携事業のイベントとして開催します。

5月から予定していました「サポートが必要な子どもたちの料理教室」（今年で4回目）は、中学生以上で18歳までの子どもたちを対象に、中央公民館の調理室などで「自分で料理することを楽しもう、また人の喜ぶ顔を思い浮かべて料理を作る」をテーマに、料理ボランティア・受付サポートボランティアと一緒に、料理を通じ身近な成功体験から自信に繋がるような機会の提供の場として開催します。（第1回を、6月27日に開催の予定）

また事務局では、今年度も研修の充実からの個々人のレベルアップを促し、障害福祉に携わるNPO 法人での働き方や意義の浸透を図るとともに、『スタッフの働きやすい環境づくり』『働き続けられる環境づくり』をめざし、事務の効率化や職場環境の整備などに日々取り組み、ハニー・ビーの縁の下の力持ち的存在で支えていきます。

ハニー・ビーでは、障がいのある人たちが、サポートを受けながらもそれぞれが自立、（自律）し、親亡き後も自分らしく地域で生き生きと暮らし、また当たり前に生きていくという、地域社会での共生社会の実現を考えています。

今年度も、ほんまもんの就労、働き続けられるための『切れ目の無い支援』に心がけ、就学中からも体験値を積み重ね、諦めないこと、そして信じることが大切との思いを伝える支援の充実に努めてまいります。

そのために、今回のコロナウイルスによる『自粛』から学んだ、人との関わり、それは障害のあるなし、子どもだから大人だからではなく、人としての違いを認め合うことが大切だということを再認識して、『地域での連携』に取り組んでいきます。ごちゃまぜの中で、一緒に体験をすること（関わりを持つこと）によって障がいのある人たちを支援する側にある『障がい者は、同じように働けない。』との思い込みを、『〇〇ができる、もしかしたら働けるかも・・』と思ってもらえるような、気付きから発想の変換につながるような支援を積み重ねることで、ハニー・ビーのミッションに一歩一歩近づいてまいります。

また、新たな取り組みとして、福祉、教育、医療と様々な分野の専門家だけでなく、企業とも繋がり、福祉サイドの見方に偏ることなく、将来に向け変革する力を養っていきたいと思っています。障がいのあるなしに関わらず、『わが子』をキーワードに保護者同士が、支援される側から、顔の見える関係性へと発展し、お互いに支え合える『互助の場作り』も担っていきたいと思っています。

## II 事業実施に関する事項

### （1）事業区分 「療育支援事業」

#### ア. 【事業名】宿泊体験事業

【事業内容】『第11回障がいのある子どもたちとの宿泊体験』事業を、独立行政法人国立青少年教育振興機構子どもゆめ基金助成を受けて【豊中市・豊中市教育委員会の後援】のもと開催します。サポートが必要な小学4年生から18歳までの人たちが、保護者と離れて初めての場所、初めての体験をする中で、ルールやマナーを学び、仲間との連携、達成感などの体験値を高めるための宿泊体験を行います。自然の中でグループごとに活動し体験することでチームワークの大切さを学び、集団での交流を図ります。また、サポーター（ボランティア）が、障がいのある人たちと知り合うことによって、障がい者への理解や意識改革が図られ、見かたや接し方が良い方向に変わっていくことに繋げていきます。

【実施場所】 兵庫県南あわじ市 ジャのひれリゾートなど

【実施日時】 令和2年7月25日（土）～26日（日）

【事業の対象者】 チャレンジャー・サポーター合わせて 35名程度予定

【収益】 1,163千円（うち助成金 830千円含む）

【費用】 1,451千円

#### イ. 【事業名】地域連携事業

【事業内容】『第9回みんなでワイワイさんあいイベント』事業を、独立行政法人国立青少年教育振興機構子どもゆめ基金助成を受けて【豊中市・豊中市教育委員会の後援】のもと開催します。今年度も服部西地区のふれあい緑地において、地域の皆さんと『あい・ふれあい・わかりあい=3つのあい』で、顔の見える関係作りに寄与できればと、地域にある小中学校で広報活動を行うとともに、様々な団体企業に声をかけ盛大に開催する予定です。企画の段階・広報活動については、子どもたちにしっかりと準備段階から取り組んでもらえるように心がけます。その中で初めての場所、初めての体験をすることで、人とコミュニケーションを取るルールやマナーを守る、仲間との連携などの体験値を高めるための経験を積み重ねます。また、保護者などのボランティアスタッフの充実を図りながら、地域住民の参加のもと活動を進めることで、子どもを見る目なども知り合うことによって変革していくことをめざします。

【実施場所】 豊中市服部西町 ふれあい緑地 芝生広場2

【実施日時】 令和2年11月8日（日）

【事業の対象者】 地域の子ども、大人合わせて 4, 500名程度  
(昨年よりも増を予定) (サポーター、構成員含む)

【収益】 1,170千円（うち助成金 970千円含む）

【費用】 1,067千円

ウ. 【事業名】サポートが必要な子どもたちとの料理教室事業

【事業内容】 『第4回サポートが必要な子どもたちとの料理教室』事業を、独立行政法人国立青少年教育振興機構子どもゆめ基金助成を受けて【豊中市・豊中市教育委員会の後援】のもと開催します。サポートが必要な子どもたちが、自分自身で保護者以外の人と関わりながら「料理を作る」ことを通じて体験値を高め、自信につなげることと、ボランティアとの交流を通じたコミュニティの醸成を図ることをめざします。

【実施場所】 豊中市立中央公民館など

【実施日時】 令和2年6月から11月の間 計6回開催（5月は順延）

【事業の対象者】 サポートが必要な子どもたち（12歳以上18歳ぐらいまで）

【収益】 476千円（うち助成金 413千円含む）

【費用】 460千円

（3）事業区分 障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス事業

ア. 【事業名】 居宅介護・重度訪問介護事業

【事業内容】 主に知的・発達障がいのある人、子どもたちの身体、生活介護や通院時の付き添い、家事援助などの支援を行ないます。また、利用者の力を引き出せるように、様々な場面でのお手伝い、自立に向けてのご支援をさせて頂きます。寄り添うことを心がけ、保護者、利用者のニーズに合わせてのサービス、将来の社会参加をめざしてのサービス、また保護者のレスパイト的役割も提供し、サービスを実施します。

【実施場所】 豊中市

【実施日時】 通年1年

【事業の対象者】 知的・発達障がいのある当事者など

【収益】 （4）移動支援事業の項に、合算し記載

【費用】 （4）移動支援事業の項に、合算し記載

イ. 【事業名】 就労継続支援B型事業

【事業内容】 法人の掲げている「みんなにやさしい共生社会の実現」への思いとして、障がいがあっても社会参加は当たり前、地域で生きていけるよう、また自己実現できるよう、知的・発達障がいをはじめ様々な障がいのある人を対象に、『はたらく』ことを通じて社会の一員として『自分らしく働く』『就労を通して、人生を輝かせよう』との思いを持って、様々な活動と体験の機会を通して、人との関わりの楽しさ、社会性を養う支援を行います。

【実施場所】 豊中市本町6丁目8-1金岡ビル1Fなど

【実施日時】 通年1年

【事業の対象者】 サポートを受けて将来は、当たり前に働きたいと願う「知的・発達障がい、精神障がい等」のある人など。

【収益】 24,162千円

【費用】 24,064 千円

ウ. 【事業名】 生産販売活動事業（就労支援収益事業）

【事業内容】 ハニー・ビー ジョブでは、就労継続支援B型事業所の利用者に対し、ジョブの指導員や支援員がサポートしながら、生産販売活動である「ハ木屋」の商品の製作・仕分・袋詰め・配達等の作業などとともに、宅配や施設店頭あるいは外部での対面販売活動なども提供し、就労の機会の充実に努めています。

就労の機会の提供を通じ、利用者の特性に応じた知識や能力の向上を目指し、働く事の達成感や満足感を実感してもらえるよう支援するとともに、生産販売活動に従事した内容に応じ工賃を支給します。製品の製作販売活動といった就労の機会の提供に止まらず、仕事上のルールやマナー、体力や集中力を養い、基本的な労働習慣を身につけられるよう支援を行います。今年度は、コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、以前のように、「イベントに参加する機会」が激減することが予想されますが、地域に愛される事業所をめざし、「出来る限りの地域への働きかけ、関わり」により、『障害があっても、誰かの役に立つ、役割を持つ』という気持ちを養い、地域でやりがいを持ってしっかりと活躍する場面を作りたいと思います。生産販売活動「ハ木屋」も含め、ハニー・ビー ジョブが豊中本町地区でもっと存在感を示せるよう事業展開をしていきます。その一環として、地域の方々にハニー・ビー ジョブに気軽に立ち寄っていただけるよう、コミュニケーションスペースとして店頭を一層活用し、地域の方々が立ち寄るきっかけとなるような催しを定期的に開催し、より地域に根ざした事業展開を行います

【実施場所】 豊中市本町6丁目8-1金岡ビル1F及び施設外事業所など

【実施日時】 通年1年

【事業の対象者】 ハニー・ビージョブB型の利用者。

【収益】 2,793千円

【費用】 4,747千円（うち売上原価 1,700千円含む）

（4）事業区分 障害者総合支援法に基づく地域生活支援事業

【事業名】 移動支援事業

【事業内容】 主に知的・発達障がいのある障がいのある人、子どもたちの外出の際の付き添い、移動の支援を行ないます。また本人の力を引き出せるよう、移動の際のお手伝い、余暇活動や自立に向けての支援をしていきます。保護者、利用者それぞれのニーズに合わせた、余暇活動や将来の社会参加をめざしてのサービス、また保護者のレスパイト的な役割も提供できるように実施します。

【実施場所】 豊中市など

【実施日時】 通年1年

【事業の対象者】 知的・発達障がいのある当事者など

【収益】 (3) アと (4) 計 18,162千円

【費用】 (3) アと (4) 計 16,117千円

## (5) 事業区分 児童福祉法に規定する障害児通所支援事業を経営する事業

### 【事業名】 放課後等デイサービス事業

(マイ児童デイサービス、マイ児童デイサービスはっとり)

【事業内容】 主に、知的・発達障がいのある子どもたち（小学校1年生から18歳）に対して、通所にて放課後等デイサービスの提供をします。

マイ児童デイサービスが主に小学生の児童、マイ児童デイサービスはっとりが、主に中学・高校の児童を対象にそれぞれの年齢や環境に応じた支援を提供していきます。

それぞれの、放課後等デイサービスでは、一人ひとりの個別支援計画に基づいた支援によって、学齢期にある児童の発達を促し、社会生活を送るために必要な力を身につけて、将来の夢や希望に近づいていくことを支援していきます。以下の目標を持って事業展開を行ないます。

- ① 人との関係を豊かにし、自信をもって生活が出来るようになること
- ② コミュニケーションの充実を図り、個々の表現をより豊かにしていくこと
- ③ 個々の能力に応じた身辺の自立をめざすこと
- ④ 健康な身体作りを促し、日々の生活をより豊かににひろげていくこと
- ⑤ 様々な体験を通じ、体験値を高めていくこと
- ⑥ 地域の中での当たり前の暮らしを実現していくこと
- ⑦ 一年を通じて四季を感じ、季節ごとの行事、イベントを楽しむこと
- ⑧ 生活や成長について、また将来について家族との相談を充実させること
- ⑨ 学校や障がい福祉サービスなど関係者、関係機関との調整を行い、子どもを中心とした支援を行なうこと
- ⑩ 火災、防災など緊急時の安全で確実な体制を確保すること
- ⑪ その他、個々の目標に応じた支援を提供すること

なお、上記の目標を達成するために次の4点を重点課題として取り組みます。

- 個々の課題に応じた個別及び集団プログラムの充実
- 保護者との交流会を通じて、親睦を図る
- 相談支援の充実、また学校等関係諸団体との連携
- 研修を充実させることで、支援スタッフのスキル及び意識の向上

### マイ児童デイサービス（そね） 2020年度（令和2年度）目標

- 基本的な生きる力を育て、基本的な人との信頼関係を構築する
- 自己表現を育てると共に、人の話に耳を傾けること、聞いたことを通して考える力を育てる
- 自分なりのコミュニケーションの取り方を獲得し、人との関わり方を学んでいく基本的な生活習慣を通して生活力の幅を広げる
- 身体の動作、手先の巧緻性、模倣など身体イメージを高めていく
- 音楽、クラフト、運動、食育など様々な活動を通して、自信をつけ意

### 欲を高める支援を行なう

- 自分で行うこと（主体性）を通じて、経験の幅を広げると共に生きる力を育てる
- 年齢差のある縦割りの活動を通して、それぞれの年齢毎の役割意識や意欲を育て、相手の気持ちを感じることを学ぶ
- 自分の気持ちを自分なりに表現し、したこと、やりたいこと、嫌なこと、頼みたいことを相手に伝えられるように支援を行なう
- 安心安全な場所で、社会性を高めて行く支援を行なう
- 絵本や本を通じて創造力や情緒の安定を図っていく

### 2020年度（令和2年度）の年間プログラム予定表

クッキング→生活に密着した食育としました。

ダンス→運動（バレエシューレン、ボールプログラム、ヨガ、リズムなどを含めた運動としました。）

月	週間プログラム（主な内容）
令和2年	文字・言葉：自己紹介カード 体操：手足ぴったんこ
4月	クラフト：つくってあそぼう せいかつ：手洗いチェックなど
5月	合同療育：春の遠足（中止） 食育：季節のおやつ作り 運動：リトミック、ヨガ レクレーション：みんなと仲よくななど
6月	クラフト：壁面作り（夏を作ろう） 体操：ダンス クラフト：七夕の準備 レクレーションなど
7月	文字・言葉：七夕の短冊作り 運動：体操 夏祭り関係 食育 クラフト「夏祭り準備②小物作り」ボランティア活動：イモの水撒きなど
8月	クラフト：秋の壁面制作 夏祭り週間「夏祭りの前週祭」 ダンス：盆踊り ゲーム：夏休みの楽しい思い出絵日記作成など
9月	さんあいイベントに向けての舞台でのダンス 音楽：みんなで歌おう ダンス：未定 クラフト：リズムあそび 運動：みんなでおどろう！ レクレーション：伝承あそびなど
10月	クラフト：実りの秋 食育：お弁当つくり クラフト：秋の壁面制作など 生活課題：生活に必要なことを学ぼう 体操：身体を動かそう！
11月	ボランティア活動、文字・言葉：芸術の秋 特別課題：避難訓練 クリスマス会の準備：プレゼント作り、 レクレーション：秋を楽しもう！など
12月	クラフト：クリスマスの飾り作り クリスマスプレゼント作り ダンス：クリスマスに向けて せいかつ：年賀状作り 合同療育：クリスマス会を開催など
令和3年	合同療育：書き初め、初詣 せいかつ：新年の抱負&お正月遊び、
1月	絵馬、福笑いなど 運動、クラフト：節分だ！鬼のお面作りなど
2月	レクレーション：豆まき、クッキング：バレンタインチョコ 運動：寒さに負けない体力づくり クラフト：春の壁面制作など
3月	レクレーション：おともだちとつながろう 運動：1年総復習！！ 文字・言葉：卒業・進級の抱負 せいかつ：進級卒業お祝い会など

## マイ児童デイサービスはっとり 2020年度（令和2年度）目標

### 前年度（平成31年度）の目標

- 「社会の中で生活する力を身につける支援を行う」
- 「将来の働く力を育て、蓄える支援を行う」
- 「就労意欲を高める支援を行う」という大きな目標のもと、
  - 「挨拶ができる」「人の話を聞く」
  - 「挨拶、自己紹介、職員へ報告・連絡・相談ができる」
  - 「デイの活動の運営に児童も参加し、共に生きる力を育てる」
  - 「デイのルール、決まり事が守れる」「集中力や持続力を身に付ける」

以上の目標を立てて活動しました。

2020年度（令和2年度）も、前年度の目標を活用しつつ、引き続き活動を継続していきます。

### 年間プログラム予定表

月	週間プログラム（主な内容）
令和2年	作業：オリエンテーション、作業練習、
4月	マナー：挨拶練習、自己紹介練習 クッキング：春のクッキング、生活：そうじの練習、
5月	クッキング：お弁当づくり、クラフト：家族へのプレゼント、 お金と数字：お金の練習、防災：避難訓練、 マナー：挨拶と自己紹介②
6月	クッキング：ポップコーン、苗植え：野菜の苗植え、 作業：作業練習、お金と数字：お金の理解
7月	クラフト：七夕かざり、マナー：あいさつ・自己紹介、 作業：作業練習、お金：お金の練習、クッキング&買い物：ソーメン
8月	クッキング：ソーメン、実習：実習、 クッキング：わらびもち、お金：お金の練習
9月	クラフト：敬老の日プレゼント、防災：避難訓練、 お金：お金の練習、マナー：挨拶練習
10月	作業：作業練習、お金：お金の練習、運動：身体を動かす クラフト：ハロウィン、カゴ作り、マナー：挨拶練習
11月	マナー：挨拶練習、お金と数字：お金の理解 作業：作業練習、クラフト：美術の秋、マナー：挨拶練習
12月	クラフト：クリスマスの準備、プレゼント、飾り付け作り 年賀状作り、運動：身体を動かす
令和3年	クラフト：かるたつくり、マナー：挨拶練習、
1月	お金と数字：お金の理解、クッキング：巻き寿司に挑戦
2月	生活：掃除、作業練習、クッキング：バレンタインクッキング マナー：挨拶練習(履歴書の書き方)、数字の理解：お金の練習
3月	クラフト：思い出のアルバム作り、マナー：あいさつ練習(自己紹介) レクレーション：お別れ会（お楽しみ会）、 クッキング：3月のクッキング

【事業場所】 豊中市

【実施日時】 通年1年

【事業の対象者】 知的・発達障がいのある当事者など

【収益】 18,695千円(そね) 27,227千円(はっとり) 計45,922千円

【費用】 19,398千円(そね) 22,182千円(はっとり) 計41,580千円

(6) 事業区分 障害者総合支援法に基づく一般相談支援事業

(7) 事業区分 障害者総合支援法に基づく特定相談支援事業

(8) 事業区分 児童福祉法に規定する障害児相談支援事業

【事業名】 相談支援センター ハニー・ビー

【事業内容】 相談支援事業では、主に知的・発達障がいのある人、子どもたちの将来に関わる相談、利用者の意思及び人格を尊重して、常に利用者の立場に立った適切な計画を相談しながら立てていきます。

利用者や家族と共に相談をしながら、「どのような暮らしがしたいのか」「そのためにはどの様なサービスが必要か」など、福祉・医療・教育・仕事・住まいなどの総合的な視点から、一人ひとりにあった計画を作成します。今回のコロナウイルス感染拡大防止の自粛により、色々な課題が露呈しました。実際に困っている人に対して、出来ない美辞麗句を並べる支援ではなく、一緒に悩みながら答えを導き出す「手を差し伸べられる」ことを意識しての相談支援でありたいと思っています。

障がいのある人が自立した日常生活・社会生活を送るために共に考え、わたし達に何が出来るのか、自問自答しながら、社会資源の活用も含めて支援をしていきます。

【実施場所】 豊中市

【実施日時】 通年随時

【事業の対象者】 障がい児・障がい者・家族等

【収益】 10,100千円

【費用】 4,294千円

(9) 事業区分 その他この法人の目的を達成するために必要な事業

【事業名】 障がい者の自立と就労参加を実現するための仕事づくり支援事業

【事業内容】 障がいのある人たちに出来る仕事を探求し、毎日コンスタントに障がい者が6時間以上働き続けられる環境づくり、仕事づくり、その他管理業務などを推進します。障がいのある人たちは働けないのではなく、『体験値が少ない』また『どうせ、出来ない』との偏見から働くことを諦めてしまうことが多い一方、実際に支援を受けながらも働くことが出来ることへの理解を促し、少しずつでも意識が変わることも多く経験してきました。そのような障がいのある方々の働き方やまた働き続ける環境を広く知ってもらうという意味においても、障がい者就労・職域開発事業の推進の役割をしっかりと果たしていきます。

放課後等デイサービス（マイ児童デイサービス、マイ児童デイサービスはっとり）においては、就労支援の基礎づくりのために「将来、就労したい！」と思えるように諦めずに信じて寄り添える、指導員を引き続き養成していきます。また、就労継続支援事業 B 型からも企業（特例子会社）やマイ児童デイサービスにおいても就労体験の機会を持ち、チャレンジできる体制を整えていきます。また、就労継続支援 A 型事業所などの他事業にも、ハニー・ビー ジョブやマイ児童デイサービスでも障害者さんが実際に働く姿を見てもらい、意識変革してもらえる場を提供していきます。

【実施場所】 各事業において実施

【実施日時】 通年1年

【事業の対象者】 知的・発達障がい者の雇用者及びサポートを担当する職員

【事業名】 自立と就労参加を実現するための啓発・情報発信事業

【事業内容】 『障がい者の自立・就労の意義』の普及を趣旨としたネットワークを構築するため、豊中市をはじめ周辺市を含めた地域で、啓発・広報活動を実施します。

ハニー・ビーのホームページを活用し、より多くの皆さんにアクセスしてもらえるような、ページ構成にし、戦略的に情報発信力の向上をめざします。

ハニー・ビー通信（不特定多数）やマイ児童デイサービス ニュースレター（利用者限定）、ハニー・ビー ジョブ通信（利用者限定）を、広報媒体として活動報告や情報を盛り込み、月1回の割合で発行していきます。会員募集の際に、ハニー・ビーの案内を郵送するだけでなく、ハニー・ビー通信に関しては、毎号定期的にメールで配信することで、より多くの人たちに活動への理解を広げ、一層の興味を持っていただけるよう繋げていきます。

また、保護者や支援者に情報を発信することで話題が広がり『寄り添う支援』『地域連携』、更には『将来、障がい者の自立・就労の意義』を掲げて、草の根的な市民レベルの啓発・広報活動も実施していきます。

【実施場所】 豊中市内

【実施日時】 通年随時

【事業の対象者】 知的障がいのある当事者と保護者、企業、教育、行政機関、市民  
障がいのある人たちの支援者又は支援者になりえる市民団体など